

東熊会会員による「里帰り講話」概要

日時	平成29年9月8日(金) 14:10~16:00
場所	天草市立新和小学校 図書室
対象	同校児童, 教職員
講師	帝都自動車交通株式会社 常務取締役 池辺 直樹 氏
参加者	78人(児童73人, 教職員5人)
テーマ	「20世紀少年から 21世紀少年少女たちへ」

【講話概要】

- 1【自己紹介】** 皆さんと同じ天草市(宮野河内)出身です。熊本高校から東京の大学へ進学し銀行勤めをした後、今の会社で働いています。
【20世紀少年(池辺氏)の少年時代】「月面着陸・大阪万博・札幌オリンピック・巨人優勝・川上哲治・人工衛星・公害問題・オイルショック」などがありました。夢中になったものは、「巨人・歴史・凶鑑・辞書・科学と学習・本(伝記など)でした。将来なりたかったものは、「プロ野球選手・科学者(研究者) 野口英世 キュリー夫人」でした。
- 2【技術の進歩でより便利な世の中に】** 昔は、「ダイヤル電話・そろばん・ほうき・松葉杖・手紙」。現代は「スマホ・パソコン・ロボット掃除機・歩行補助器」。
【ひとつの成功の裏には、多くの人の情熱の努力とたくさんの失敗】 青色発光ダイオードの研究は30年かかりました。外国で研究が諦められる中、日本人の3人は粘り強く研究を続けました。
【会社が協力しているミライの車作り】 燃料電池車を使った実験をしています。「つながるタクシー」として、トヨタや KDDI と協力してデータを集めています。自動運転のデータ収集をしているのです。
【人工知能と社会のこと】 「自動車の緊急停止機能・人型ロボペッパー・将棋ロボット」がありますね。AI=人工知能を使った機械がどんどん増えています。「タクシーの運転手・医者ロボ・大工ロボット・教師ロボ・・・」
- 3【一緒に考えてみよう】**
人間の仕事はなくなると思う人? 13人ですね。理由は?
見 人工知能が何でもやってしまうから。見 ロボットは人間よりなんでも上手にできるから。
人間の仕事はなくならないと思う? 60人ですね。理由は?
見 ロボットは何でも考えられるわけではないから。見 器用な作業はできないから。見 警察犬がロボットだったら犯人を捕まえることはできないと思うから。見 ロボットを作るのは人間だから。見 全てのスポーツはできないから。見 思い出を残すことができないから物語を作ることにはできないと思う。見 水産業で水を使う作業は難しいから。見 電池が切れたら何もできない。見 ロボットが壊れた時人がいないと困る。見 何か事故が起きたときの対応は人。
- 4【おわりに】** メッセージを贈ります。「鉄は熱いうちに打て」。日本刀は鍛えぬかれて完成します。鉄のもと 溶かして叩く 不純物が出て行く 磨かれる。これと同じように君たちも、先生やおうちの人の教を聴いて、どんどん磨かれていってください。最後にイチローの言葉を贈ります。「努力の天才になること。努力せずに何かできるようになる人のことを天才というのならぼくはそうではない。努力しただけできるようになる。人が僕のことを努力もせずに見える人だと思えばまちがいです。」